

製品名: PROL4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16520**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	14kDa

抗原情報

遺伝子名	PRR4 LPRP PROL4
別名	
遺伝子 ID	11272.0
SwissProt ID	Q16378
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

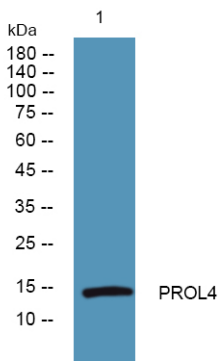
プロリンリッチ 4 (涙腺) (PRR4) ホモサピエンス この遺伝子は、保存された反復ドメインを欠くプロリンリッチタンパク質ファミリーのメンバーをコードする。このタンパク質は、眼における保護機能に関与している可能性がある。選択的スプライシングによ

り、複数の転写バリエーションが生じる。また、この遺伝子と上流の PRH1 (プロリンリッチタンパク質 HaellI サブファミリー 1) 遺伝子との間では、リードスルー転写も存在する。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]、組織特異性: 涙腺で豊富に発現し、腺房細胞に認められるが、小葉内管には認められない。また、顎下腺、耳下腺、舌下腺にも認められる。、

研究分野

-

画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、PROL4 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩